

## 2018年9月号 財務諸表論 つぶ問

### 3問目

**問題** 討議資料「財務会計の概念フレームワーク」における包括利益と当期純利益の意義をそれぞれ述べたうえで、両者の関係を説明しなさい（250字程度）。

### 解答

包括利益とは、特定期間における純資産の変動額のうち、報告主体の所有者である株主、子会社の非支配株主、及び将来それらになり得るオプションの所有者との直接的な取引によらない部分をいう。また当期純利益とは、特定期間の期末までに生じた包括利益のうち、その期間中にリスクから解放された投資の成果であって、報告主体の所有者に帰属する部分をいう。したがって、（非支配株主に帰属する部分が無いとすれば）当期純利益の金額にリスクから解放されていない投資成果であるその他の包括利益を加えたものが、包括利益になるという関係にある。（254字）

### 解説

討議資料「財務会計の概念フレームワーク」（以下、概念FW）における財務諸表の構成要素について、包括利益と当期純利益の定義と関係を問う問題です。

当期純利益は、概念FWでは「特定期間の期末までに生じた純資産の変動額（報告主体の所有者である株主、子会社の少数株主、及び将来それらになり得るオプションの所有者との直接的な取引による部分を除く）のうち、その期間中にリスクから解放された投資の成果であって、報告主体の所有者に帰属する部分」と定義されます（概念FW第3章、9項）。

下線部は包括利益の定義と同じですので、解答例ではその部分を「包括利益」に置き換えています。また、概念FW原文では、親会社以外の子会社の株主を「少数株主」としていますが、現行の会計基準では「非支配株主」と呼ばれている点にも注意しておきましょう。あわせて、概念FWにおける「当期純利益」も、「親会社株主に帰属する当期純利益」と呼ばれていますので、この点は知っておいてください。

概念FWおよび現行基準における利益の概念は、①投資のリスクから解放されているか否かと、②誰のものであるかという観点から、【図表】のように整理できます。それぞれの利益の名称は、概念FWではなく会計基準の中で定められている、財務諸表上の表示項目名です。

【図表】 概念 FW および現行基準における利益概念の整理

	親会社株主の利益	非支配株主の利益
投資のリスクから解放された成果としての利益	親会社株主に帰属する当期純利益	非支配株主に帰属する当期純利益
リスク未解放部分を含む利益	親会社株主に係る包括利益	非支配株主に係る包括利益

「リスクからの解放」については、今後の連載にて解説しますので、今しばらくお待ちください。